

平成29年度 学校関係者評価実施報告書(まとめ用)

学校番号	80	学校名	静岡県立浜松商業高等学校	記載者	児玉 一淑
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組(重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	地震、火災、台風等の災害への対応の仕方を身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none"> 地域ごとの集団避難の仕方を理解する。 短時間での避難・点呼の完了。 	A	A	高校生、特に浜商生への思いとして地域住民や近隣の学校等と協力した防災訓練をぜひ行って欲しい。
イ	卒業後、更に大きく成長できるよう、学力向上を図るとともに、主体的な学習態度を身に付けさせる。	授業に主体的に取り組み、そこから充実感が得られる生徒を育てる。	A	A	次期学習指導要領の主体的、対話的で深い学びを目標設定に取り入れて授業改善に取り組んで欲しい。
ウ	人の命の大切さや、健康の有り難さを知ることにより、交通ルールの重要性を学ぶ。	自転車交通安全指導件数を前年度より減少させる。	B	B	登下校時の自転車マナーについての一層の指導が必要である。どこで、だれに、どの段階で指導するかも大切である。
エ	他人を大切に出来る心が育つよう、学校全体を常に穏やかな状態にする。	生徒の人間関係に係る問題行動「0」を目指す。	A	A	今後もいろいろな手段、方法により、継続して指導を行って欲しい。
オ	生徒の多様な進路に対応できる体制を整備し、個に応じた進路指導の充実を目指し、進路実現に対する安心感を抱かせる。	<ul style="list-style-type: none"> 就職希望者全員が内定を獲得できるようにサポートする。 進学希望者の進学先決定をサポートする。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 就職後の評判がよいことは大変素晴らしいことである。 就職状況のよいこの時期に、将来のことを考え、就職先の確保を行うとよい。
カ	コミュニケーション能力を高め、互いに尊重・信頼できる人間関係を育む。	教師、生徒ともに人間関係づくりのスキルを理解・習得することで、今までよりも円滑な人間関係を築き、安心して学校生活を送れるようにする。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 新しい取組を行っている点、生徒から好評である点を評価したい。 教員も含めて話し合える環境づくりが必要である。教員も同様な研修を行うとよい。

様式第 5 号

キ	生徒が抱える多様な問題に対応できるように、相談しやすい環境を整え、早期に情報共有し、チーム支援を図る。	「相談室だより」の月1回の発行。特別支援も含めて、問題を抱えた生徒に関するケース会議を早期に開催する。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットを活用しての、情報共有も考えられる。 ・中学校との連携が必要である。
ク	豊かな人格形成のために、知識や教養を身に付けさせる。	不読者をゼロに近づける。図書館の授業利用の促進を図る。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって興味のある分野、本は何かを特定して行うことが必要である。 ・読書に関することは、ネットや漫画からも知識や教養を得られることから大きな意味で捉えてはどうか。
ケ	人を大切にする「人権教育」を土台として、研修を充実させ、職員の資質向上を図る。	人権感覚を高めることによって自尊感情を育て、見抜く技術、行動する態度を身に付けるようにする。また生徒が「大切にされている」という実感が得られるようにする。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な暴力的な事態を予防する研修の充実が望まれる。 ・体罰だけでなく、児童虐待等も考える研修も必要である。また、子供の貧困問題も重要である。 ・多くの課題が人権に繋がる、その意味で人権に係る研修等は大変大切である。
コ	校内の情報を安全に管理できる環境を整備するとともに、効果的に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・月に2回以上のWebの更新を行う。 ・緊急用メールの利用マニュアルの作成メール登録の徹底を図る。 	A	A	安全・安心な学校づくりを行う上で、生徒・保護者・学校関係者の情報共有は大切なことである。
サ	生徒が安心して学習できる環境の整備を図る	学校施設等における生徒・職員の事故及び隣接地への被害ゼロの達成を目指す。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の事故に備え、安全対策マニュアルが一層の充実が必要である。特に、部活動における生徒の安全対策は必要である。 ・ソフト面、ハード面の管理を徹底することが大切である。